

平成30年 3月 8日

平成30年第1回神奈川県議会定例会

東京オリンピック・パラリンピック・  
ラグビーワールドカップ特別委員会資料

産 業 労 働 局

# 目 次

ページ

- 1 ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック  
競技大会に向けた観光の主な取組みについて ..... 1

# 1 ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた観光の主な取組みについて

## (1) 取組の概要

観光を取り巻く環境の変化や動向に的確に対応するため、平成28年3月に策定し、29年11月に一部見直しをした「神奈川県観光振興計画」(計画期間：2016(平成28)年度～2018(平成30)年度)に基づき、観光振興施策を総合的かつ計画的に推進している。

## (2) 計画の目標と進捗状況

### ア 入込観光客数(暦年)

入込観光客数を毎年400万人ずつ増やし、2018(平成30)年には2億人とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	(1億7,600万人)	(1億7,800万人)	1億9,200万人	1億9,600万人	2億人
実績	1億8,410万人	1億9,297万人	1億9,027万人 〈確定値〉		

### イ 観光消費額総額(暦年)

観光消費額総額を毎年1,000億円ずつ増やし、2018(平成30)年には1兆5,000億円とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	( - )	( - )	1兆3,000億円	1兆4,000億円	1兆5,000億円
実績	9,600億円	1兆993億円	〈集計中〉		

### ウ 外国人旅行者の訪問者数(暦年)

県内への外国人旅行者の訪問者数を段階的に増やし、2018(平成30)年には298万人とすることを目標とする。

	2014(平成26)年	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年
目標	(126万人)	(136万人)	183万人	251万人	298万人
実績	165万人	223万人	231万人	244万人 〈速報値〉	

※ ( )は前計画(2013(平成25)年度から2015(平成27)年度)の目標値

※ 2017(平成29)年からの目標値は、平成29年11月に見直し

### (3) 平成29年度の主な取組の実施状況

#### 基本施策1 魅力ある観光地の形成

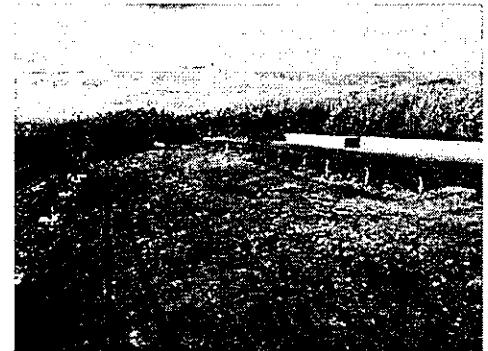
##### ア 観光資源の発掘・磨き上げ

###### (ア) 新たな観光の核づくり

平成24年度に、城ヶ島・三崎、大山、大磯の3地域を県が「新たな観光の核づくり」の候補地域として認定。各地域の構想において先導的な役割を果たすと認められる事業について、その事業費の一部を促進交付金として県が負担することにより、地域の主体的な取組を促進

###### a 城ヶ島・三崎地域

回遊性向上のため、城ヶ島の東西を結ぶハイキングコースの整備を実施



城ヶ島ハイキングコース

###### b 大山地域

受入環境を整備するため、駐車場及び交通情報システムの整備等を実施

###### c 大磯地域

大磯のブランドイメージ等を発信するフリーペーパーを作成

###### (イ) 多様な資源を活用した観光魅力づくり

鎌倉、大山、横須賀の「日本遺産」認定を契機に、日本遺産を核に県内全域の歴史をテーマとする観光プロモーションや受入環境整備を実施

a 大学教授、歴史研究者等の有識者7名からなる「神奈川歴史観光ガイドブック編集委員会」を設置し、ガイドブック(1,500部)とリーフレット(50,000部)を作成

b 明治維新150周年を契機とした歴史観光プロモーション

(a) 横浜駅東口新都市プラザのイベントスペースでイベントを開催(12月2日)

(b) 鹿児島県知事を迎え「神奈川歴史観光シンポジウム～明治維新150周年を迎えて～」を実施(1月27日)

c 受入環境の整備

地域のおもてなし力を高めるため、ガイドボランティアが実施するまち歩きツアーの開催を支援(全10コース企画)

(ウ) 観光資源を活用した体験型ニューツーリズムの促進

a 産業ツーリズムの推進

「京浜臨海部産業観光推進協議会」（県、横浜市、川崎市及び立地企業、観光事業者等で構成）が主体となって京浜臨海地域の産業観光を推進

- ・産業観光シンポジウム開催（10月23日）
- ・産業観光モニターツアー（11月30日、3月17日予定）

b 商店街ツーリズムの推進

商店街や周辺の観光スポットを巡る商店街観光ツアーを実施

- ・オープンガーデンとお店を巡る大磯まち歩きツアー
- ほか 計13回 参加者合計410人（1月末時点）

(エ) 第8回かながわ観光大賞の実施

観光客の増加や地域活性化等に大きく寄与した事業者・団体を表彰（応募件数：8件）

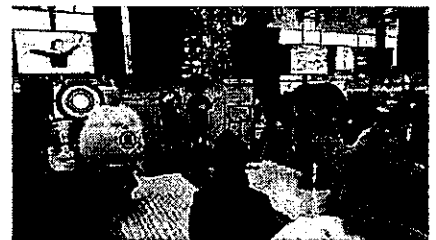
- 大賞：株式会社 チッタ エンタテイメント  
優秀賞：1件 審査員特別賞：2件

イ 戦略的プロモーションの推進

(ア) 神奈川の魅力を伝えるプロモーションの実施

a 鉄道事業者と連携したプロモーション

JR富山駅（8月27日、28日）及び  
JR仙台駅（1月28日、29日）で、  
観光プロモーションイベントを実施



JR仙台駅での観光プロモーション

b 「神奈川集中観光キャンペーン実行委員会」による  
観光キャンペーン

海ほたるパーキングエリアや山梨県立リニア見学センター等  
において、パンフレットの配布等のキャンペーンを行い、観光  
PRを実施

c 高速道路等を活用したプロモーション

四季の情報や観光施設等の割引クーポンなどを掲載した観光  
ガイドブック「クルップ」を作成し、圏央道や関越道などの高  
速道路のサービスエリア等で配布

- 8月：20,000部作成（内容：湘南・三浦・横浜）
- 12月：11,000部作成（内容：小田原・箱根・湯河原）
- 3月：20,000部作成予定（内容：県央方面（予定））

(イ) 多様なツールを活用した情報発信

ホームページや観光パンフレットなどに加え、SNSやデジタルサイネージなど多様なツールを活用し、最新の観光情報を発信

ウ 受入環境の整備

(ア) かながわ移動観光大学の開催

地域の観光振興全般に関わるセミナー等を開催

10月20日 松田町

11月9日 藤沢商工会議所

11月10日 神奈川県商工会議所連合会

11月27日 真鶴町

12月13日 小田原市観光協会

(イ) 第3回 高校生 外国人「おもてなしアイデア」コンテストの実施

県内に観光学科を持つ県内4大学と神奈川県で構成する「かながわ観光大学推進協議会」が主体となり、高校生の感覚で「かながわの魅力」を発見し、外国人の観光客や友人を「おもてなし」するアイデアを募集し表彰

募集期間：9月1日～9月29日 応募件数：414件

最優秀賞：江ノ電で巡ろう！御朱印探しの旅

優秀賞：1件 アイデア賞：2件

特別賞：1件 チャレンジ賞：20件

(ウ) 歴史観光ガイドのスキルアップ講座の開催

歴史研究の有識者等を講師に迎えて「かながわ歴史観光ガイドボランティア スキルアップ講座」を開催し、地域のガイドボランティアを育成

第1回 1月25日 小田原会場 参加者数 32名

第2回 1月30日 横浜会場 参加者数 84名

基本施策2 外国人観光客の誘致促進

ア インバウンドツアーの企画・商品化の促進

「神奈川県観光魅力創造協議会」において、観光資源の発掘や出前セミナーによる外国人目線での磨き上げ、モデルコースの作成、商談会の開催を行うことで、県内を周遊する魅力的で多彩なツアーの企画・商品化を促進

(ア) 神奈川県観光魅力創造協議会の開催

第1回 5月25日

第2回 10月26日

第3回 1月25日

(イ) 観光資源の発掘

・新規発掘数（1月末時点）：累計2,190件

(ウ) 出前セミナーの実施

外国人有識者や留学生による現地での観光資源の検証と地域の関係者との意見交換会：19回実施（1月末時点）

(エ) モデルコースの作成

・新規作成（3月末まで予定）：80ルート（累計：480ルート）

(オ) インバウンドツアーの認定

・新規認定（1月末時点）：587件（累計：612件）

(カ) 旅行会社向けの説明会、商談会の開催

旅行会社やランドオペレーターを対象に、地域の多彩な観光資源を紹介する「コンテンツ紹介シート（日・英2言語）」やモデルルートを提示し、旅行商品化を要請するとともに、県内の市町村・観光協会・観光関連事業者との商談会を実施

a 第1回

開催日：7月5日

参加者：旅行会社・ランドオペレーター27社  
県内自治体等29団体

b 第2回

開催日：11月22日

参加者：旅行会社・ランドオペレーター30社  
県内自治体等29団体

c 第3回

開催日：2月23日

参加者：旅行会社・ランドオペレーター36社  
県内自治体等39団体

イ 外国人観光客の誘致を図るプロモーションの推進

(ア) アジアの5つのターゲット国・地域（中国・台湾・マレーシア・インドネシア・ベトナム）へのプロモーション

パンフレット・SNS・現地メディアを活用した情報発信、旅行代理店等の招請、国際観光展への出展、近隣都県等と連携した共同プロモーションを実施

a 中国

(a) 広州で開催された「CITIE 2017」に出展（9月8日～10日、来場者数約50万人）

(b) 中国の旅行会社を対象とした本県へのツアー商品造成を目的として招請事業を実施（11月15日～17日、4社4名）

b 台湾

- (a) 台湾人の個人旅行者へ向けた本県観光情報の発信を目的として、台湾人ブロガーの招請事業を実施（7月2日～5日）
- (b) 台北で開催された「2017 台北国際観光博覧会」に出展（10月27日～30日、来場者数約36万人）
- (c) 台北市内で一般消費者向け観光イベント（1月20日、来場者数約170人）を実施

c マレーシア

- (a) クアラルンプールで開催された「MATTA Fair Kuala Lumpur 2017」に出展（9月8日～10日、来場者数約10万4千人）
- (b) マレーシアの旅行会社を対象とした本県へのツアー商品造成を目的として招請事業を実施（1月24日～26日、1社2名）

d インドネシア

- (a) インドネシア人の個人旅行者へ向けた本県観光情報の発信を目的として、インドネシアメディアの招請事業を実施（7月10日～13日 2名、7月10日～15日 2名）
- (b) ジャカルタで開催された「Garuda Travel Fair 2017」に出展（9月22日～24日、来場者数約5万8千人）

e ベトナム

- (a) ハノイ市内において、政府関係者や現地メディア・旅行事業者などを対象とした観光セミナーを開催（7月13日、出席者104名）
- (b) ホーチミンで開催された「Feel Japan in Vietnam 2017」に出展 「Feel Japan in Vietnam 2017」（7月15日～16日、来場者数約1万7千人）
- (c) ベトナムの旅行事業者を対象とした本県へのツアー商品造成を目的とした招請事業を実施（9月13日～16日）



(イ) ラグビー人気が高い国をターゲットとしたプロモーション

ラグビーワールドカップ2019™参加国の公式旅行代理店やメディアの招請

- ・英国ラグビー雑誌「RugbyWorld」を11月3日～7日に招請
- ・公式旅行代理店招請事業を実施（1月14日～16日 イギリス2名、1月30日～2月1日 オーストラリア2名）

(ウ) 外国語観光情報ウェブサイトを活用した情報発信

『Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-』に、新たに中国語（繁体字、簡体字）、韓国語を10月31日に追加



## ウ 外国人観光客の受入環境の整備

### (ア) 神奈川県観光客受入環境整備協議会の開催

#### a 協議会の目的

県内における観光客の受入環境を官民が連携して整備

#### b 構成員

行政、有識者、経済団体、観光協会、旅行業者団体、ボランティア団体、宿泊施設団体、公募構成員（16名）

#### c 協議事項

(a) 観光客の受入環境を整備するための具体的な事業の内容と経費の総額

(b) (a)の受入環境整備事業を実施する上での行政（県・市町村）と民間事業者の役割分担や連携方策

(c) (b)の役割分担等に基づき、行政（県・市町村）が行う受入環境整備事業の財源を確保するための方策

#### d 開催実績

平成29年1月～8月にかけて全6回の会議を開催

#### e 「協議結果とりまとめ」の概要

- ・無料Wi-Fiや多言語案内板の整備などの経費の総額を、官民合わせて約188億円と推計
- ・多岐にわたる受入環境整備事業の分担は、それぞれの施設等を管理する主体が実施していくことが望ましい。
- ・全国知事会の宿泊行為に対する課税の議論も注視しながら、様々な角度からの財源確保方策の議論を慎重かつ丁寧に進めていくべき。

### (イ) 民間事業者への支援等

a 「神奈川県観光魅力創造協議会」が新たに発掘した観光資源に対し、民間事業者が、無料Wi-Fiや外国語表記等の整備をする事業に補助

14件交付決定

b 県内事業者向けに24時間対応で、3言語（英語、中国語、韓国語）による電話通訳サービスを行う多言語コールセンター事業を実施

募集期間：6月12日から随時

サービス提供期間：6月17日～3月31日

申込事業者：176事業者（1月末時点）

- c 県内で活動しているガイドを対象とした研修や、ガイド団体等とガイド志望者とのマッチングの実施により、おもてなし人材の育成を促進

(a) 外国人案内ボランティア講座

第1回 9月9日 横浜会場 参加者数 60名  
第2回 9月30日 小田原会場 参加者数 52名

(b) 通訳案内士営業力向上セミナー

第1回 12月12日 横浜会場 参加者数 173名  
第2回 12月17日 小田原会場 参加者数 84名

(c) 通訳案内士と観光関連事業者とのマッチング会

第1回 1月24日 横浜会場 参加者数 59名  
第2回 1月29日 横浜会場 参加者数 50名

(ウ) 外国人観光客動態調査等の実施

外国人観光客の動態の把握やニーズを分析するため、携帯電話やWi-Fiの位置情報を活用した動態分析やアンケート調査（10月～12月）を実施

### 基本施策3 観光関連産業の成長促進

#### ア 地域の産品の開発や販路開拓等

(ア) かながわ産品アンテナショップの運営

県内の名産品を県全域から幅広く集めて「かながわ屋」店舗でPRすることにより、かながわ産品を効果的に情報発信  
(委託先：(公社)神奈川県観光協会)

(イ) クラウドソーシングを活用した新商品の開発支援

全国の消費者・生活者のアイデア、知恵を集めるウェブ上のプラットフォームを保有する企業と連携し、中小企業の新商品開発等を支援

募集期間：7月31日～9月1日

支援企業：株式会社よこはまグリーンピース  
岩井の胡麻油株式会社

(ウ) かながわ名産展の開催

本県への観光誘客を図るため、県内外で開催する物産展を通じて、神奈川の名産品を県内外に向けてPR

(公社) 神奈川県観光協会補助事業

物産展開催(1月現在)：11回(県外8回・県内3回)

(エ) 第28回神奈川県名菓展菓子コンクールの実施

神奈川県名菓展会(県、神奈川県銘菓共励会、神奈川県菓子工業組合、(一社)神奈川県洋菓子協会、(公社)神奈川県観光協会により構成)が、公募により菓子の品評会を2年に1度実施し、新たな指定銘菓を選定

a 一般名菓の部

最優秀賞：「生たまご生プリン」

優秀賞 2品 技術賞 1品 奨励賞 11品

b 観光みやげ品の部

最優秀賞：該当なし

優秀賞 1品 技術賞 1品 奨励賞 6品

c 神奈川県指定銘菓の決定

最優秀賞、優秀賞の中から新たに神奈川県指定銘菓3品を決定

・「生たまご生プリン」

・「開港レシピのアップルパイ」

・「ゴマ味噌香る芳醇チーズ～山椒の辛味をピリッと利かせて～」

(オ) 「かながわの名産100選」の見直しについて

平成18年度に選定した現在の「かながわの名産100選」の抜本的な見直しを行うため、県観光魅力創造協議会に「『名産100選』検討分科会」を設置し、新たな名産品の選定等について検討

a 構成団体

行政・観光振興団体・農林水産関係団体・金融事業者・経済団体・貿易関係団体等(11団体)

b 検討事項

・新たな名産品の選定

・名産品の販路拡大

・名産品の効果的なPR手法 等

c 開催実績

第1回 平成30年1月16日(火)

d 今後の予定

平成30年度末までに全8回程度の会議開催を予定

